

研究計画概要

助成年度・種別	2015年度 若手研究助成
研究者	反中 亜弓
所 属	福井刑務所 / 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科
研究テーマ	粗暴犯の感情認知・コントロール特性についての検討：失感情に着目した矯正プログラムの開発
研究計画概要	<p>粗暴犯は他の犯罪者に比べて、怒りのコントロールが脆弱であると言われる。近年、矯正施設では、粗暴犯を対象とした改善指導として、認知行動療法プログラムやアンガーマネジメントを取り入れはじめている。</p> <p>本研究では、自らの感情に気付くことや語ることの困難さ、感情を適切に認知することの困難さを包含している失感情症（アレキシサイミア）（Sifneos, 1973）という特徴に着目し、怒りのコントロールとの関連について、受刑者及び一般成人を対象に調査する。</p> <p>調査結果を基に、（１）自らの感情に気付くことや語ることの困難さ、感情を適切に認知することの困難さ等の問題が怒りの表現やコントロールに及ぼす影響について分析する。（２）粗暴犯と一般成人に対する調査結果を比較し、特に粗暴犯において感情コントロールを阻害する特徴を明らかにする。（３）現在行われている改善指導の前後で、粗暴犯の特徴にどのような変化が生じるかを効果検証する。</p> <p>以上により、粗暴犯において感情の適切な表現やコントロールを阻害している特徴を明らかにし、現在の指導による効果と改善点について考察する。</p>
選考委員からのコメント	<p>矯正施設において、粗暴犯に対する効果のある心理療法の実施が求められている。本研究は、粗暴犯の感情体験の認知などの特性に着目し、効果的なプログラムの開発を目指すものである。研究成果に期待が持てる。</p>